

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

安芸太田町立戸河内小学校
校長 竿尾 久恵

○子どもの前に胸を張って立てる自分であろう。

教育の原点 ～子どもたちはわたしたちの姿を見て育ちます～の徹底

使命 私たちは子どもを守り育てます。公正 私たちは不祥事を許しません。

遵守 私たちは法令を遵守します。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の 規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○職員室の机のまわり等整理整頓が時々出来ていない状況がある。 ○効果的・効率的な研修を行うための工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○整理整頓を心がける。当たり前のことをあたり前に行う。 ○主体的なサービス研修を行い、さらに当事者意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎週金曜日の暮会後を整理整頓の日に位置づけ3分間全体で取り組む。 ○サービス研修を1人1提案で行うことを基本とする。 ○ロールプレイやグループ協議など個々の思いが出しやすい研修内容を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○整理整頓を暮会で呼びかけ一斉に行い点検する。 ○サービス研修の内容や有効性について意見を吸い上げ、実践の修正を行いより効果的なものにする。
学校組織としての 不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○報告・連絡・相談の充実を図る。 ○生徒指導を進める際に、事実確認と指導を混同して同時に行ってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人で悩みや課題を抱え込まないように、組織的な生徒指導体制を確立する。 ○情報を共有して管理職を軸に複数指導体制で指導を行う。 ○職員同士が何でも話せる雰囲気づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止研修計画に生徒指導に関する理論的な内容を盛り込む。 ○暮会等で相互の仕事内容や取組状況を確認する。管理職が職員の状況の把握に努める。このことを軸に見通しの持てる方向性を全員で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修の中で、学習したことを相互に交流し、共通認識を持つ。 ○暮会等で話し合われた内容や日頃の交流の中身、管理職の状況把握に基づき間を置かず協議し方向性を共有し実践に取り組む。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○児童、保護者や教職員相互の心情や状況を十分には受容しきれていない実態がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の相談体制をつくと共に、管理職への連絡を迅速にし、組織全体で取り組む。 ○「困ったこと相談日」や体罰・いじめ・セクハラの相談窓口の周知を繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教室に相談窓口を掲示する。 ○管理職への相談体制を徹底し、相談事項には迅速にかつ組織的に対応する。 ○学校だよりや学級懇談会で相談窓口の周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体罰・いじめ・セクハラに関するアンケートを年2回以上実施する。 ○日頃からの保護者との連携体制(家庭訪問や電話連絡等)を充実させ、情報収集に努める。教職員間のことに関しても管理職は努めて情報収集に努力する。